

修学支援制度申請書(写)

2023年8月

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校青山ファッションカレッジ
設置者名	学校法人原学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
服飾専門課程	ファッションクリエーター科 (2年制)	夜・通信	1980 時間	80×2=160 時間	
	ファッションクリエーター専攻科 (1年制)	夜・通信	1020 時間	80×1=80 時間	
	ファッションビジネス科 (2年制)	夜・通信	1830 時間	80×2=160 時間	
	スタイリスト・コーディネーター科 (2年制)	夜・通信	1875 時間	80×2=160 時間	
	ファッションテック科 (1年制)	夜・通信	930 時間	80×1=80 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<p>H Pにて授業科目一覧を公開。(学科・学年毎掲載) 授業科目一覧の中で、教員の実務経験に関するチェック欄あり。 (掲載：https://afc.ac.jp/cms/wp-content/themes/afc/assets/pdf/fc1yoko.pdf https://afc.ac.jp/cms/wp-content/themes/afc/assets/pdf/fc2yoko.pdf https://afc.ac.jp/cms/wp-content/themes/afc/assets/pdf/fc3yoko.pdf https://afc.ac.jp/cms/wp-content/themes/afc/assets/pdf/fb1yoko.pdf https://afc.ac.jp/cms/wp-content/themes/afc/assets/pdf/fb2yoko.pdf https://afc.ac.jp/cms/wp-content/themes/afc/assets/pdf/sc1yoko.pdf https://afc.ac.jp/cms/wp-content/themes/afc/assets/pdf/sc2yoko.pdf https://afc.ac.jp/cms/wp-content/themes/afc/assets/pdf/ft1yoko.pdf)</p>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校青山ファッションカレッジ
設置者名	学校法人原学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

HP内の「事業報告書」にて理事名簿を公表している。
(掲載：<https://afc.ac.jp/cms/wp-content/themes/afc/assets/pdf/jiho.pdf>)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	元民間放送局関連企業 代表取締役	2020.1.26 ～ 2024.1.25	学校経営全般に関する 意見具申・チェック機能
非常勤	建築設計事務所代表取 締役	2020.1.26 ～ 2024.1.25	学校経営全般に関する 意見具申・チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校青山ファッションカレッジ
設置者名	学校法人原学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) (ファッションクリエイター科(2年制)、ファッションクリエイター専攻科(1年制)ファッションビジネス科(2年制)、スタイリスト・コーディネーター科(2年制)、ファッションテック科(1年制)) 授業計画は、10月～3月中旬の間に全教員と校長が意見調整を行い、時代の変化・実務の状況に即し、各学科の目的に最適な授業を構築するべく方向性を確定させる。3月中旬に開催する教員全体会議で最終的な意見調整を行い、その上で各教員が3月末日までにシラバスを作成し、校長の承認を経て、年度初め(4月上旬)に学生に配布するとともに、追って5月下旬を目処にホームページに公表している。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>掲載(学科・学年毎): https://afc.ac.jp/cms/wp-content/themes/afc/assets/pdf/fc1yoko.pdf https://afc.ac.jp/cms/wp-content/themes/afc/assets/pdf/fc2yoko.pdf https://afc.ac.jp/cms/wp-content/themes/afc/assets/pdf/fc3yoko.pdf https://afc.ac.jp/cms/wp-content/themes/afc/assets/pdf/fb1yoko.pdf https://afc.ac.jp/cms/wp-content/themes/afc/assets/pdf/fb2yoko.pdf https://afc.ac.jp/cms/wp-content/themes/afc/assets/pdf/sc1yoko.pdf https://afc.ac.jp/cms/wp-content/themes/afc/assets/pdf/sc2yoko.pdf https://afc.ac.jp/cms/wp-content/themes/afc/assets/pdf/ft1yoko.pdf</p>

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

各授業科目のシラバスに記載の「成績評価の方法」に基づき適正に評価を行い、履修を認定している。
また、学則、校内ルールにおいて、成績評価、卒業の認定要件について規定している。

(参考)

・学則

(卒業・修了の認定)

第17条 校長は、教育課程の定めるところにより、各学年ごとに修了すべき学科目について試験を行い、合格者に対して当該学科目の修了を認定する。ただし、実習については、実習の成績によって修了を認定することができる。

・校内ルール

4. 成績について

(2) 成績は、試験、課題、レポート、出席状況、授業態度等を100点満点で点数化し、次の通り評価します。

【評価】	A+	100～	91点	A	90～	81点
	B+	80～	76点	B	75～	71点
	C+	70～	66点	C	65～	60点
	P	点数化しない科目の合格				
	F	59点以下または点数化しない科目の不合格				

(3) 卒業・進級は以下の3項目を、判定会議で総合評価し決定します。

①成績（基準単位の修得） ②出席率 ③素行

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

GPAを客観的な指標とし、令和元年度から各学生の成績簿に標記するとともに、クラス毎の分布状況の把握に努め、学業優秀者表彰の候補者選出にも活用している。

成績の評価方法とGP (グレードポイント)

評価	評価点	成績値	合 否
A+	91点以上	4.0	合 格
A	81～90点	3.0	
B+	76～80点	2.5	
B	71～75点	2.0	
C+	66～70点	1.5	
C	60～65点	1.0	
F	59点以下	0	不合格

GPAは次のようにして算出されます。

$$GPA = \frac{(\text{科目授業時間数} \times \text{科目成績値}) \text{の合計}}{\text{履修授業科目の合計授業時間数}}$$

成績評価方法については、学則、校内ルールをホームページで公開しているほか、オリエンテーションで学生に通知している。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

掲載：
<https://afc.ac.jp/cms/wp-content/themes/afc/assets/pdf/gpa.pdf>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

専門学校青山ファッションカレッジは、服飾に関する創作能力と技術の向上、並びにファッションビジネスに必要な専門教育を行い、時代に即応し社会の要請に応える人材の育成を目的としている。

「ディプロマポリシー (ホームページ「学校紹介」ページ内に記載)」、「校内ルール P3 7. 卒業の資格について (ホームページに掲載)」に卒業認定の方針を定め、卒業・進級判定会議で審議・判定の上、適正に卒業認定を行っている。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

掲載：
ディプロマポリシー
<https://afc.ac.jp/school/>
校内ルール
<https://afc.ac.jp/cms/wp-content/themes/afc/assets/pdf/rule.pdf>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校青山ファッションカレッジ
設置者名	学校法人原学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	毎年6月下旬に最新情報をHP公開している https://afc.ac.jp/cms/wp-content/themes/afc/assets/pdf/bs.pdf
収支計算書又は損益計算書	毎年6月下旬に最新情報をHP公開している https://afc.ac.jp/cms/wp-content/themes/afc/assets/pdf/pl1.pdf
財産目録	毎年6月下旬に最新情報をHP公開している https://afc.ac.jp/cms/wp-content/themes/afc/assets/pdf/zaimok.pdf
事業報告書	毎年6月下旬に最新情報をHP公開している https://afc.ac.jp/cms/wp-content/themes/afc/assets/pdf/jiho.pdf
監事による監査報告（書）	毎年6月下旬に最新情報をHP公開している https://afc.ac.jp/cms/wp-content/themes/afc/assets/pdf/kanho.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾家政		服飾専門課程	ファッションクリエーター科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1700 単位時間/単位	45 単位時間/単位	180 単位時間/単位	1845 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		11人	0人	4人	8人	12人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） クラス担任の他、各授業担当教員が個別相談・指導を随時実施し、学修支援に努めている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
9人 (100%)	7人 (77.8%)	2人 (22.2%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 2年卒での技術職の就職は難しい為、上級学科（3年次）への進学を推奨している。 2年卒の場合、一部を除き多くはアパレル業界の販売職に就職する。 今年度は染色整理加工企業、縫製会社に就職。			

(就職指導内容) 進路ガイダンスの他、個別面談を実施。		
(主な学修成果(資格・検定等))	受験者数	合格者数
パターンメイキング技術検定(3級)	2人	1人
パターンメイキング技術検定(2級)	1人	1人
洋裁技術認定	2人	2人
ファッション色彩能力検定(3級)	3人	3人
(備考) (任意記載事項)		

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
15人	2人	13.3%
(中途退学の主な理由) 経済的困窮、心身耗弱・疾患		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制により欠席傾向を早期発見し、個別面談を実施。欠席が続く場合は警告書を送付。学費分割延納対応による支援も実施。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾家政	服飾専門課程	ファッションクリエーター専攻科	—	—		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
1年	昼間	850 単位時間/単位	45 単位時間/単位	1035 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
15人	7人	0人	3人	5人	8人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) クラス担任の他、各授業担当教員が個別相談・指導を随時実施し、学修支援に努めている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
2人 (100%)	0人 (0%)	2人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) アパレル業界			
(就職指導内容) 進路ガイダンスの他、個別面談を実施。			
(主な学修成果 (資格・検定等)) マイブランドコレクション (ファッションショー) 発表			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
3人	1人	33.3%
(中途退学の主な理由) 心身耗弱・疾患		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制により欠席傾向を早期発見し、個別面談を実施。欠席が続く場合は警告書を送付。学費分割延納対応による支援も実施。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
服飾家政	服飾専門課程	ファッションビジネス科	○	—			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1700 単位時間/単位	270 単位時間/単位	990 単位時間/単位	900 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
		単位時間/単位					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
70人	38人	0人	4人	20人	24人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) クラス担任の他、各授業担当教員が個別相談・指導を随時実施し、学修支援に努めている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
26人 (100%)	4人 (15.4%)	19人 (73.1%)	3人 (11.5%)
(主な就職、業界等) アパレル業界			
(就職指導内容) 就職ガイダンスの他、個別面談を実施。授業内でも指導。 ストライプインターナショナル、パル、バロックジャパンリミテッド他に就職。			

(主な学修成果(資格・検定等))	受験者数	合格者数
ファッション販売能力検定(3級)	20人	15人
ファッション販売能力検定(2級)	3人	1人
ファッションビジネス能力検定(3級)	16人	7人
ファッションビジネス能力検定(2級)	2人	1人
ファッション色彩能力検定(3級)	12人	11人
(備考) (任意記載事項)		

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
57人	5人	8.8%
(中途退学の主な理由) 学力不振、修学意欲低下		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制により欠席傾向を早期発見し、個別面談を実施。欠席が続く場合は警告書を送付。学費分割延納対応による支援も実施。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾家政		服飾専門課程	スタイリスト・コーディネート科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1700 単位時間/単位	135 単位時間/単位	675 単位時間/単位	1395 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
70人		25人	0人	5人	21人	26人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) クラス担任の他、各授業担当教員が個別相談・指導を随時実施し、学修支援に努めている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
15人 (100%)	1人 (6.7%)	11人 (73.3%)	3人 (20%)
(主な就職、業界等) アパレル業界、スタイリスト業界			
(就職指導内容) 就職ガイダンスの他、個別面談を実施。授業内でも指導。 フィルム他に就職、スタイリストアシスタントに就業。			

(主な学修成果(資格・検定等))	受験者数	合格者数
ファッション販売能力検定(3級)	6人	6人
ファッションビジネス能力検定(3級)	5人	5人
ファッション色彩能力検定(3級)	6人	6人
ファッション色彩能力検定(2級)	2人	1人
(備考) (任意記載事項)		

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
35人	6人	17.1%
(中途退学の主な理由) 学力不振、修学意欲低下、病気、経済的困窮		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制により欠席傾向を早期発見し、個別面談を実施。欠席が続く場合は警告書を送付。学費分割延納対応による支援も実施。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
服飾家政	服飾専門課程	ファッションテク 科	—	—			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼間	800 単位時間/単位	90 単位時間 /単位	450 単位時間 /単位	450 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
25人	7人	0人	3人	11人	14人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) クラス担任の他、各授業担当教員が個別相談・指導を随時実施し、学修支援に努めている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
※2023年度よりファッションモデル科からファッションテク科へ学科変更			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
3人 (100%)	0人 (0%)	3人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) ファッションモデル業界			
(就職指導内容) 授業内を中心に個別指導を実施。プレステージ他に所属。			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 外部のファッションショーへの出演。			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
3人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制により欠席傾向を早期発見し、個別面談を実施。欠席が続く場合は警告書を送付。学費分割延納対応による支援も実施。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
ファッションクリエイター科 (2年制)	200,000 円	620,000 円	320,000 円	施設維持費 200,000 円 教材費 40,000 円 実習費 80,000 円
ファッションクリエイター専攻科 (1年制)	200,000 円	660,000 円	360,000 円	施設維持費 200,000 円 教材費 80,000 円 実習費 80,000 円
ファッションビジネス科 (2年制)	200,000 円	620,000 円	320,000 円	施設維持費 200,000 円 教材費 40,000 円 実習費 80,000 円
スタイリスト・コーディネーター科 (2年制)	200,000 円	620,000 円	320,000 円	施設維持費 200,000 円 教材費 40,000 円 実習費 80,000 円
ファッションテクニク科 (1年制)	200,000 円	620,000 円	320,000 円	施設維持費 200,000 円 教材費 40,000 円 実習費 80,000 円
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度評価について、学校HP公開している https://afc.ac.jp/cms/wp-content/themes/afc/assets/pdf/jikoten.pdf
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校関係者として、業界関係者、卒業生、保護者 (本校教職員でない者) で構成する学校関係者評価委員会を組織し、それぞれの知見を活かした教育内容・学校運営等について評価を行っている。会議には委員の他に、学校側オブザーバーが出席し、評価内容は校長が取りまとめ、業務運営および次年度の計画策定に反映させることで、改善に取り組んでいる。

学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
アパレル企業・代表取締役（ファッションデザイナー）	2021. 10. 1～ 2023. 9. 30	企業
フリースタイリスト	2021. 10. 1～ 2023. 9. 30	卒業生
なし	2021. 10. 1～ 2023. 9. 30	保護者
学校関係者評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） 前々年度評価について、学校HP公開している https://afc.ac.jp/cms/wp-content/themes/afc/assets/pdf/kankeisha.pdf		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://afc.ac.jp/school/
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	H113310300061
学校名	専門学校青山ファッションカレッジ
設置者名	学校法人原学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		11人	12人	12人
内訳	第Ⅰ区分	-	-	
	第Ⅱ区分	-	-	
	第Ⅲ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				12人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	0人	0人	—
計	0人	0人	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	0人	0人	—
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人	—	0人
計	0人	—	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。